

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年6月19日(2008.6.19)

【公表番号】特表2007-537298(P2007-537298A)

【公表日】平成19年12月20日(2007.12.20)

【年通号数】公開・登録公報2007-049

【出願番号】特願2007-513455(P2007-513455)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/22	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	13/12	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 M	25/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	37/24	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 M	25/00	3 0 9 Z
A 6 1 M	25/00	4 2 0 P

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月18日(2008.4.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1つの腎動脈に局所的に投与されるように処方されている、ナトリウム排泄増加性ペプチドを含有する組成物。

【請求項2】

前記ナトリウム排泄増加性ペプチドが、前記患者の両腎動脈に局所的に送達されるように処方されている、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記両腎動脈への局所的送達が同時に起こる、請求項2に記載の組成物。

【請求項4】

前記患者が、うっ血性心不全、呼吸困難、高い肺毛細血管楔入圧、慢性腎機能不全、急性腎不全、心腎の症候群、および糖尿病からなる群より選択される、少なくとも1つの状態を発症する危険がある、請求項1に記載の組成物。

【請求項5】

前記患者が、うっ血性心不全、呼吸困難、高い肺毛細血管楔入圧、慢性腎機能不全、急性腎不全、心腎の症候群、および糖尿病からなる群より選択される、少なくとも1つの状態に罹患している、請求項1に記載の組成物。

【請求項6】

前記ペプチドが、低血圧を含む全身性副作用の危険を低下させるように選択された条件下

で投与される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記ペプチドが、薬物または薬学的組成物の形態で送達されるように処方されている、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記薬物が、約 1 ~ 5 m c g / k g の投薬量でボーラス形態にて送達されるように処方されている、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記薬物が、約 0 . 0 0 5 ~ 0 . 0 5 m c g / k g / 分の投薬量での連続投与を介して送達されるように処方されている、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記薬物が、約 0 . 0 0 5 ~ 0 . 0 5 m c g / k g / 分の投薬量での連続投与と組み合わせて、約 1 ~ 5 m c g / k g の投薬量でのボーラス形態を介して送達されるように処方されている、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 11】

前記ナトリウム排泄増加性ペプチドが、B N P 、A N P およびC N P からなる群より選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 12】

システムであって、以下：

少なくとも 1 つの送達ポートが少なくとも 1 つの腎動脈に配置されるように、大動脈を介して配置されるように構成されている脈管内カテーテル；および

該脈管内カテーテルを介して、該少なくとも 1 つの腎動脈に活性物質を送達するための手段、を備え、

ここで、該カテーテルは、該カテーテルが該大動脈に配置されかつ該送達ポートが該少なくとも 1 つの腎動脈に配置される場合に、患者の動きから生じる張力または圧縮に適応する、伸展領域を備える、

システム。

【請求項 13】

前記伸展領域が、直線状でなく、そしてコイル構造、蛇行構造、またはジグザグ構造を備える、請求項 1 2 に記載のシステム。

【請求項 14】

前記伸展領域が、隣接する領域よりも低い剛性を有し、前記大動脈への配置の後、該伸展領域のたるみを許容する、請求項 1 2 に記載のシステム。

【請求項 15】

請求項 1 4 に記載のシステムであって、

前記伸展領域をまっすぐにするための、前記カテーテルの管腔内に配置されたスタイルットであって、該スタイルットを用いてまっすぐにしたまで、前記大動脈を通して該カテーテルが進められ得る、スタイルット、

を備え、該伸展領域が、該伸展領域からの該スタイルットの引き抜きが、該伸展領域が非直線状構造をとることを可能にするように構成されている、システム。

【請求項 16】

前記活性物質が、ナトリウム排泄増加性ペプチドを含有する、請求項 1 5 に記載のシステム。

【請求項 17】

前記ナトリウム排泄増加性ペプチドが、B N P 、A N P およびC N P からなる群より選択される請求項 1 6 に記載のシステム。

【請求項 18】

前記ナトリウム排泄増加性ペプチドを、約 1 ~ 5 m c g / k g の投薬量にてボーラス形態で送達するように構成されている、請求項 1 6 に記載のシステム。

【請求項 19】

前記ナトリウム排泄増加性ペプチドを、約0.005～0.05mcg/kg/分の投薬量での連続投与を介して送達するように構成されている、請求項16に記載のシステム。

【請求項20】

前記薬物を、約0.005～0.05mcg/kg/分の投薬量での連続投与と組み合わせて、約1～5mcg/kgの投薬量でのボーラス形態を介して送達するように構成されている、請求項16に記載のシステム。

【請求項21】

腎薬物送達用カテーテルであって、該カテーテルは、以下：

カテーテル本体であって、近位端、遠位端、および該カテーテル本体を貫く薬物送達用管腔を有する、カテーテル本体；ならびに

該薬物送達用管腔へ薬物を送達するように適合された、該近位端上のハブ、を備え、

ここで、該カテーテル本体の該遠位端は、該カテーテル本体が隣接する大動脈に配置される場合に腎動脈に入るよう適合されており；そして

該カテーテル本体の一部分は、伸展性であり、そして該カテーテル本体が大動脈にありかつ該遠位端が腎動脈にある場合に、患者の動きから生じる張力または圧縮に適応するよう、構成されている、

腎薬物送達用カテーテル。

【請求項22】

前記部分が、直線状でなく、そして長さにわたって、コイル状、蛇行状、またはジグザグ状の幾何学的構造を有する、請求項21に記載の腎薬物送達用カテーテル。

【請求項23】

前記伸展部分が、前記カテーテルの隣接する領域よりも低い剛性を有し、その結果、該伸展領域がたるんで、配置後の張りおよび伸長に適応するようゆるく配置され得る、請求項21に記載の腎薬物送達用カテーテル。

【請求項24】

スタイルットをさらに備え、該スタイルットは、送達の間に前記伸展部分をまっすぐにするため管腔に配置され得る、請求項21に記載の腎薬物送達用カテーテル。